

「ホログ市義肢装具製作所改修計画」 完了祝賀の会

7月21日、相木大使は、ゴルノ・バダフシャン自治州ホログ市を訪問し、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」で実施された、同市の義肢装具製作所改修計画（供与額：90,853米ドル）の工事完了を祝い、同プロジェクトに携わった関係者に感謝する会に出席しました。同会合には、ホログ市、赤十字国際委員会（ICRC。我が国の改修プロジェクトに合わせ、機材供与及びスタッフの訓練を実施）の代表者、同製作所長及び職員ほかが出席しました。

相木大使は出席者への挨拶で、今回のプロジェクトにおいて改修工事が実施されたことにより、これまで遠方の義肢製作所への通所を余儀なくされていた利用者の負担が軽減されることは喜ばしい旨述べました。また、本プロジェクト完了のため尽力した、義肢装具製作所等の関係者へ感謝の意を述べました。これに対して、タジキスタン側からは、日本政府及び日本国民からの支援に対して謝意が表明されました。

タジキスタンでは、1996年から今日まで、草の根・人間の安全保障無償資金協力として合計453件、総額約3,740万ドルに上るプロジェクトが実施されています。

